

## 回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第4号	令和3年7月14日	伊予市役所	子育て支援課
題 目（テーマ）： 伊予市の子育て支援の在り方について			
提 案 理 由（要旨）			
<p>今夏、伊予市市街地にある唯一の小児科が閉院する事になり、このままだと子育て世代で現実的に困るといふ方々が多く周囲にいますので、目安箱に提案します。</p> <p>伊予病院には小児科があるとのことですが、多くの人にとって現実的な選択肢とならないと感じております。松山市のホームページでは、諸条件あるものの、1,000万円の補助金を出して小児科の開業を支援しているようです。伊予市は何か誘致のために尽力されているのでしょうか。全国的に小児科不足が問題になっている今、一朝一夕で解決できる問題ではないと重々承知の上ではありますが、子育て世代の方々がかかりつけとして日頃通うことのできる小児科も、出産を迎える方が利用できる産婦人科の1つも無い伊予市に未来はないように感じます。</p> <p>伊予市は、歩いて過ごせる郡中地区として各方面で移住支援の取組をしているようですが、そのあたりを鑑みても、この難しい問題を、今一つ解決に向けて踏み込んでいただきたく存じます。よろしく願いいたします。</p>			
回 答 内 容			
<p>日頃から、本市の子育て支援策に関し、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。また、この度は、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、小児科誘致のための取組につきまして、宇山医師ご自身にも、数年前から伊予市で開業していただける小児科医を各方面で探していただいた経緯があり、宇山小児科閉院の連絡後は、本市においても他市町や市内医療機関への情報収集などを行い、検討しているところでございます。</p> <p>その中で、誘致につきましては、ご提案いただきました補助金制度をはじめ、その他の方策につきましても調査・研究し、引き続き検討してまいりたいと考えております。</p> <p>しかしながら、全国的な小児科医の減少を踏まえ、短期間で解決することは難しい問題でありますので、それまでの間は、現在の松山医療圏域における医療機関との連携強化をもって、本市の子育て支援に生かしてまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>			